



お別れの歌を歌う園児ら

## 学習成果をまちづくりに

～ 登別市ときめき大学卒業式・修了式～

2月25日(火)、市民会館で『平成14年度登別市ときめき大学卒業式及び修了式』が行われました。



この日、晴れてときめき大学を卒業したのは46人。同大学総長の上野市長から一人ひとりに卒業証書が手渡されたほか、卒業生のうち4年間一度も休まずに受講した二人に皆勤賞が贈られました。

卒業生を代表して古瀬幸生さんが「ときめき大学で養った学習成果を少しでもまちづくりに役立てたい」と謝辞を述べ決意を新たにしていました。

## 思い思いのかたちや色のらくがんができました

～ 郷土資料館体験学習『和菓子づくり体験』～

3月8日(土)、文化伝承館で日本伝統の菓子・らくがんを作る『和菓子づくり体験』が開かれ、親子など32人が参加しました。

この体験学習は、市内の菓子店から寄贈されたらくがん用の木型を展示していた同館が、子どもたちに和菓子を作る楽しさを知ってもらおうと行ったものです。

参加者は、郷土資料館ボランティアグループSLGの指導のもと、赤や黄色の食紅を材料に混ぜ合わせてから花や魚などの型に入れて完成させ、彩りと仕上がりに満足していました。



## さようなら若草幼稚園

～ 若草幼稚園卒園式・閉園式～

3月15日(土)、市立若草幼稚園で卒園式と閉園式が行われました。

市は、市立幼稚園の大幅な定員割れが続き、今後も幼児の大幅な増加が見込めないことから、将来にわたる幼稚園教育の安定充実を図るため、幼稚園教育を私立に委ねることとし、若草幼稚園は今年の3月で閉園されることが決まっていたものです。

若草幼稚園は、昭和52年に2園目の市立幼稚園として開園。今年の卒園生28人を含め、これまで1,774人の卒園生を送り出してきました。

最後の卒園生となった園児や父母は、幼稚園の26年間の歩みを振り返るスライドを見たあと、お別れの歌『さよなら ぼくたちのようちえん』を全員で歌い別れを惜んでいました。

なお、残る登別温泉・富士の市立幼稚園2園については、平成17年3月に閉園する予定です。



## 親子で一緒にそりすべり

～ カルルス温泉冬まつり～



3月2日(日)、カルルス温泉サンライバスキー場で、登別市・登別観光協会・(株)どうなん興産主催の『カルルス温泉冬まつり』が開かれ、風はまだ冷たいものの日ざしが春を感じさせる会場には、多くの家族連れが訪れました。

会場では、スキー・スノーボードの無料講習会や歩くスキーの集い、雪中みかん拾い、親子ボブスレー大会、鬼を的にし雪球を投げる『ストライクワン』などが行われました。

親子ボブスレー大会には、50組の親子が参加。親子が一つのそりに乗って約40分のコースを滑走し、勢い余って転倒する親子もいて、観客の笑いを誘っていました。